沖縄県

沖縄県がある琉球諸島には大小160の島があり、そのうち37が有人島になります。県は41の市町村からなり、エリアによって様々な特徴を有しています。

豊かな自然はもちろんのこと、沖縄独自に発展し、継承された伝統や文化も大変魅力的です。

ごあいさつ

はいたい！イベント主催者の沖縄県企画部地域・離島課です。当課では、離島や過疎地域の振興を目的とした事業を行っており、その一つとして沖縄県移住定住促進事業がございます。子だくさんと言われる沖縄でも、本島北部や離島によっては既に人口減少が始まっており、地域の暮らしや産業、伝統の継続が難しい状況のところもあります。そのような中で移住取組を行う県内市町村と、沖縄の田舎や離島で暮らしたいという移住希望者の方が出会える機会を、移住相談会や移住フェア、移住体験ツアーの実施や、総合移住ガイドブックの発行、移住情報サイトの運営によって提供させて頂いております。

移住をご検討中の皆さまへ

沖縄県には毎年平均約3万人の転入者があります。多くの方が、本土から海を遠く隔てた沖縄へ、期待や不安、様々な思いを胸にいらっしゃっているかと思います。一方で、転出も同数程度あり、転勤や進学で沖縄を離れる方もいれば、中には定住をあきらめて帰る方も含まれるでしょう。「沖縄は南の楽園だと思っていた。来てしまえば何とかなると思っていた」という方、実際の沖縄暮らしは「自分のイメージとは違った」とお話くださる方もいらっしゃいます。

皆様が望まれる理想の”沖縄暮らし”を実現し、継続するためには、「収入確保はどうしようか」「本島か、離島か、そもそも自分が暮らしたい、と実際に生活できる”沖縄”のエリアはどこだろうか」等、移住の準備やシミュレートはとても大切だと思います。この度の移住イベントで市町村担当者と直接話すなどして、多くの情報を得て頂ければと思います。

沖縄県の支援（抜粋）

仕事・生活相談窓口
・グッジョブセンターおきなわ
（電話：098-865-5006）
就職支援
・UIターンセンター（2019年9月開設予定）
（銀座わしたショップ、県大阪事務所）

生活環境

・交通
【沖縄本島内の移動】車/モノレール/路線バス/コミュニティバス
【本島から離島へ行く場合】飛行機/チャーターヘリ/フェリー
【離島内の移動】車/路線バス/コミュニティバス

・お買い物
［市街地］スーパー等施設多数
［本島北部・小規模離島等］商店

・医療
県立病院6施設、公設診療所、民間医療機関等

・待機児童数
1702名（2019年4月1日時点）

・学校
幼稚園（公立200/私立31）
認定こども園55
小学校（国立1/公立266/私立4）
中学校（国立1/公立150/私立6）
高等学校（県立60/私立4）
大学（公立4/私立4）

その他概要

人口	1,445,013人（平成31年4月1日現在）
平均気温	23.5℃
産業	卸売業、小売業、観光業（宿泊、飲食等）、医療福祉、農業、漁業
農業	肉用牛、さとうきび、野菜、花木等

担当：堀井・黒川
所属：沖縄県企画部地域・離島課
電話：098-866-2370
✉：aa017035@pref.okinawa.lg.jp
HP：https://okinawa-iju.jp/

イベント当日の「沖縄県ブース」では、事前予約枠と、フリー対応の職員も配置しております。出来るだけ多くの方の、ご相談やお問合せに対応させて頂きたいと思っておりますので、お気軽にお声がけください。